

令和3年度 和歌山市立藤戸台小学校 スクールプラン（学校運営計画書）

校長名 堀本 純平 作成日 令和3年4月1日

和歌山市学校教育方針

- 確かな学力の育成
- 道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の充実
- 不登校・いじめ問題の解消
- 子供の安全確保の徹底
- 地域とともにある学校づくりの推進

保護者・地域の願い

- 安全安心な学校
- 子供達の学力を向上
- 子供達の自主的に学習に取り組む習慣の定着
- いじめのない楽しい学校・学級

【学校教育目標】

自分の成長を感じる子供の育成

【めざす児童像】

- ・学ぶ楽しさを感じ、学びを広げていく子供
- ・豊かな心を持ち、感性を磨いていく子供
- ・もてる力を発揮し、何事にも挑戦する子供

前年度の学校評価

- コロナ禍においても各学級で児童が共に学び合い、話し合いを大切にしたり分かりやすい授業を提供するため研究に取り組む、実践している。
- 家庭学習について、児童が自主的に学習習慣の定着のため、学校と家庭の連携を深める必要がある。
- コロナ禍においても感染症対策を図り、地域や保護者との連携をさらに深められたい。

児童の実態

- 自分の考えを積極的に発信し、友達の意見を聴こうとするなどの学習規律が定着してきている
- 人権意識、コミュニケーション力に課題あるのでその向上に努めたい。
- 学習への関心意欲の向上と挨拶に課題がある。

重点目標

確かな学力の向上

- ◎主体的・対話的な学びのある授業
- ◎探究的・問題解決的学習
- ◎基礎基本の確かな学力の定着
- ◎家庭学習の定着・読書の推進

豊かな心の育成

- ◎道徳教育・人権教育の充実と他教科との連携による人権意識の向上
- ◎いじめの未然防止、早期発見・解決
- ◎豊かな読書活動の推進
- ◎一人一人を大切にする学級づくり・仲間づくり

健やかな体の育成

- ◎体力向上の推進
- ◎基本的な生活習慣の確立
- ◎危機回避能力の育成

地域とともにある学校

- ◎保護者・地域との連携充実
- ◎地域教材・地域の人材の更なる活用
- ◎保幼小の接続、小小・小中の連携

具体的な取組

- 「和歌山の授業づくり基礎・基本3か条」を徹底させた授業を行う。
- 全教員が年間2回の研究授業を実施する。公開授業、授業研究協議には講師を招聘し、『主体的・対話的な学び』等について研修する。
- 学びの時間や放課後のフォローアップの時間を設け、基礎学力の定着を図る。
- 指導と評価の一体化に取り組み児童の達成感の醸成を図る。
- 家庭学習の手引きを配布し「希望のしるしノート」を活用するとともに、保護者と協力しながら家庭学習の定着を図る。

- 教科書を中心に、地域教材等も活用し、多面的に考えたり議論したりする等道徳科の授業を充実させる。
- いじめアンケートを学期に1回実施し、いじめの未然防止、早期発見・早期対応に努める。
- 情報モラルやネット社会に潜む危険性について、子供と保護者がともに研修の機会を設定する。
- 話し合い活動・体験活動を通して友達と学び合うことの楽しさを実感させる。
- 生き物との触れ合い、野菜や草花の栽培活動ができる場をつくる。
- 心を耕す読書活動を質的に充実させる（朝読タイム・うちどく・読み聞かせ）。図書委員会や各家庭と連携・協力しながら、子供達の読書に対する興味・関心を高める取り組みを進めていく。

- スポーツテストから児童の課題を把握し、体育授業の充実（運動量の確保・運動の楽しさ、喜び）に努め、体力の向上を図る。
- 「早寝・朝起き・朝ごはん・挨拶」を推奨し、生活習慣の確立に努める。
- 避難訓練や交通安全教室を計画的に行い、危機回避能力を育成する。
- 学校保健の推進と食育指導の充実を図る。

- コロナ禍においても感染状況を注視しながら、コミュニティスクールを活用し、児童には地域の方々との交流により人との関わりやすさを体感させるとともに、地域の伝統や地域の方々の知恵を知り、地域を誇る児童を育てる。
- 児童の学習や行事の様子をホームページや学校便り、校門の掲示板等を活用し、随時最新の情報を紹介するように努める。
- コロナ禍においても感染症対策を徹底し、地域にある和歌山大学との交流・連携を進める。

指標

- ・全国学調、県学習到達度調査で正答数が全国や県平均を上回る。
- ・基礎学力の定着に係る評価(90%)
- ・わかりやすい授業、子供主体の授業の実践(児童・教師 90%)

- ・学校が楽しいと感じる(児童90%)
- ・いじめの解消率100%

- ・早寝・朝起き・朝ごはんの実行(90%)
- ・安全確保・健康管理(90%)

- ・教育活動の伝達(80%)
- ・家庭・地域との連携・協力(80%)